



41. 12. 17

発行所 釧路アスナロクラブ編集部

目次

- 事務局メモ..... 1
- 俳句..... 1
- 儲ける..... 1
- ビールは浮気封じ..... 1
- 終戦日に想う..... 2
- 拝啓釧路選挙民様..... 3
- 東側と西側..... 4
- アズナロ人物往来..... 4

### 事務局

八月例会 八月二十一日

家族野遊会

東釧路飛行場に於て石狩鍋を囲み楽しい一刻を過ぎ去り行く夏の太陽を浴びて会員家族併せ六七名参加

九月例会 産業会館 十六日

ゲスト 富士銀行 花輪様

テーマ 上手な金の借り方

出席十八名

十月例会 産業会館 十七日

ゲスト 釧路職安 相馬課長

商業高校 佐川先生

北陽高校 五十嵐先生

星園高校 森先生

テーマ 明年度の採用諸問題

出席 二十二名

役員会

十月七日

議題 1 経過行事に就ての反省

2 予定行事の具体策に就て

3 十二月例会について

4 創立五周年記念行事

部会

### メモ

総務部会 七月 二十二日

厚生部会 八月 十八日

八月 二十日

おこやみ

岩田会員の御尊父が十月八日にお亡くなり、葬儀には会より弔辞をおくりおこやみ申し上げるとともに役員が葬儀に参加し御焼香を致しましたお慶び

お慶び

渡辺会員の新店舗が栄町十二丁目到新築になり八月三十日落成致しました 会よりお祝いに役員がお伺い申し上げ記念品を贈呈致しました

### 儲ける

さかえはじめ

「儲ける」という字を分析して見ましよう。この中には「お金」という意味は全く含まれて居りませんね。

儲けという字は、信用の「信」という字と「者」という字から出来ていて、本当の意味は「人に信用をつくることなり」という事である様です。つまり信用が出来ればその結果として自然にお金も出来る様になるという事でもあります。人間儲けようと思へば、先づ信用して貰はなければならぬ、自分を信じてくれるものを多くつくる事を先

### 俳句作品

現代俳句協会々長 風 同人

蒲生 貨車夫

亡父に逢いたし盆焔灯を白目押しに  
夏まひる亡父昔きし屋根街に遺る  
稲妻たのし亡父憩いたる柱起つ  
草の花縄で支えて飯の便所  
雲速し祭りの母へまた帰らず  
葡萄紅玉妻を私しする夜は  
アパートへ米担ぎ上ぐ夜の早り

### ビールは浮気封じ

「第一に考へなければなりません。先日この話をききながら、信用といふ事は金よりも大事である事は承知はしているものの、もう一度かみしめて帰つて来ました。」

英国の「産業心理」社はこのほど「ビールを愛飲する男は少なくとも禁酒家よりは奥さんに忠実なはず」という調査報告を発表した。それによると、ビール飲みは「お時間」が近づくと一種の原始的な緊張を覚える。この緊張感に原始人が狩りに出かけるとき感じた興奮にも似ており、セックス以上の衝動力を持つている。だから彼らにとつては色ごととは二の次なのだそうだというわけで、同報告はビールの飲んべえ亭主を持つ世の奥さん方に「ビール飲みはうわ気をしないという事実を免じて了とされたい」と訴えている。

(ロイター共同通信より)

# 終戦記念日に想う

渡部政雄

昭和二〇年八月一五日此の日は我々日本人にとつて一生忘れる事の出来ない日であります。

不滅を、ほこつた我が日本軍日清日露の大戦にも勝利を挙げた軍隊が物の見事に破れ我々日本人一人一人が初めて敗戦と言ふ事を味わつた事です、以来二〇年余世界でも類を見ない程の早さで復興を見せ再び元の日本の姿になり世界の人々の目を見張らせて居ります。

毎年終戦記念日の八月十五日頃になりますと、新聞、ラジオ、テレビ等で当時の事を思い出させる様な報道が入り末だに異国の丘に居る人又外地にて行方不明の人等居る様です、軍隊の入隊検査ではねられて私は軍隊生活と言ふものは味わいせんが昭和十九年十月無線電信の学校を卒業と全時に大阪商船に入社全社の白龍丸と言ふ当時日本には数の少ない砕氷船の次席通信士として乗船致しました、此の船は昭和十六年函館ドックにて進水致しました三二〇〇噸の貨客船で新得——小樽——真岡——恵須取の定期航路船で貨物と船客を乗せて航海して居り船

へ運んで行きます、恵須取には王子製紙の工場があり帰路は殆んど紙を積んで内地へ帰ります貨物船と違ひ客船は船員ばかりでなく、老、若、男女諸々の人が乗船するのでなか／＼面白いもので色々エピソードも有りませんが此れは失礼させて戴きます恵須取港で——二泊致しますが停泊中はるか遠くよりおして来る水の中に本船は、厚い氷にはさまつた様な状態のため夜分などは不気味な音が聞こえ、船が押つぶされるのでは、ないかと思ふ程です。戦争も末期となり沖繩基地の未軍より短破の日本向け放送等で日本は負け戦さと言ふ事は大体わかつて居りました。航海中は二十四時間勤務で本船には無線局長、次席、三席と三人の通信士が居りましたので四時間勤務の八時間休みと云う勤務です、太平洋側の方は敵潜水艦による危険度が多いため一般商船は殆んど日本海を航海し太平洋側は軍関係の船が多めい様でした。敵艦船に攻撃を受けた船より発するSOSの無電は昼夜を分たず入電し全くあわれな物だと、つくづく感じさせられました。八月十四日小樽を出港した本船は、一路真岡向け航行中十五日の終戦放送を丁度宗谷海峡の真中で聞き、此処で比れ以上進む事は危険と進路を

反転、稚内港に向け引返ししました。陸上の無線局よりは何度も戦争は敗れ終つたから樺太近海の航行船舶は至急北海道の港へ入る様打電して参り附近に見える船は皆稚内に向け全力で航行して居ります。此のため稚内港は一時十数隻の商船が入り込んでしまいました。積荷は稚内に降しても仕采し切れないため船客のみ下船させ、今後の状況待ちと言ふ事になりました。翌十六日入港船各船長が集り、日本も敗れた以上米軍上陸と全時にどの様な事になるかわからないが樺太に居る日本人は、ソ連軍上陸と全時に又戦うらしいせめて婦女子のみでも日本本土に帰りたいものだと言ふ事で、ソ連軍の来ない内にと日本人婦女救出の相談が出来上つた当時スピードの有る船は殆んど軍の御用船となり、スピードの無い船ばかりが国内に残つて居た。私達の白龍丸は砕氷船と言ふ特殊な船のため、スピードは早かつたが軍の御用船には取られず居りました。此の救出作業は単独航海は危険度が多いため、船団を組んで行く事になり大体全じスピードの出る船同志が船団を組む事になりました。私達は稚泊連絡船宗谷丸と組み、別に海防艦二隻と共に十六日午後二時稚内を出港日本人婦女子の集

結地大泊に向いました。稚内——大泊間は九十哩の処で本船団十五哩のスピードで行くと、六時間午後八時頃には大泊に入港致します、我々の船団が一番早い船団で、他の船団は十時間から十一時間位に要するものばかりです。米軍の航空機に逢うかソ連の艦船に逢うか、それはかりが心配でしたが幸い当日宗谷海峡は非常に強い海霧が発生し発見される度は割合少い日でした。本船の一〇〇米先に宗谷丸が進みだ左右の側には海防艦が此れ又一〇〇米の間を置いてついで居りますが海霧が強いため何も見えず只自分の船の船尾と船先とが、かすかに見える状態、進路とスピードのみに気を付け、甲板員全員船先に立つて見張り乍らの航海でした。我々通信士は、電波の発信は非常の場合以外一切出来ず全神経を耳にして配置について居るのみです。此の様な航海で午後八時頃無事大泊入港接岸の上直ちに婦女子のみの乗船が始まりました男は十二才以下の者のみ乗船が許され、それ以上の者は、ソ連と一戦交へると非常な意気込みです、電灯は一切点灯せず真暗な中、乗船は開始されどんどん乗船して来ます。荷物は人間本位に乗船させる関係上一人一個とし背負えるだけ大きな袋につ

め込んだ物を背負い、よろよろと乗船して来ます。接岸された船の上には婦女子のみ岸の上には夫や子供が残り此れが此の世の別れかと、さめざめと泣く姿には私達も本当に涙なくしては見られない様子でした。約二時間程で乗れるだけの人員を乗せますと、船は静かに出港致します。最後の別れに泣きけぶ女子供達の声は又一際大きくなつて参ります。船室も通路もデツ

キの上も人、人通り路の無い程本船で約二〇〇〇人位つめ込み又海防艦のデツキの上にも真黒になつて人が乗込んで居ります。一刻も早く稚内へと全速力で進みます。稚内に入ると直ちに人を降し再び大泊に向け出港致します。二度目の航海の時でしたか大泊にて乗船開始して間も無く無電にて、ソ連艦船が樺太に向け航行中との情報が入り、乗船時間を切上げ全速力で

逃げた事もあります。此の様な救出作業を三度やり、ある事情のため一度び小樽へ回航積荷を全部降ろして、再び樺太へ向うべく小樽へ向け航行致しました。此の時利尻島沖辺りで、敵潜水艦が附近に居るとの情報が入り附近の船と共に、クモの子を散らす様逃げた事もありました。今でも八月十五日頃になると必ず報道されます小笠原丸外二隻が留萌沖で潜水艦 撃を受けます。

### 続 拝啓 釧路選挙民様

今 田 英 三

拝啓 釧路選挙民様

先の衆院選が過ぎて、すぐに皆様には誠に義憤を訴へ、お便りを差上げましたが、今回又来春予想される衆議院議員選挙について、皆様には、どの様なお考へでおられるかと、日を増すごとに心配が募る許りなので不躰ながらお手紙を出した次第です。

地方で二人の私達の代表を選ぶ事が出来たのに、一人も出せなかつたのですから、今から思ひ出して、慚愧にたえません。私事になりますが、私達の様な商業人の集りに「あすなるクラブ」といふのがあり、開設してより満五年程たつて居ります。一ヶ月に、二回集り各自の意見を交換し、自分の事業や、生活にいくらかでもプラスにし、お互に発展して行こうという集りで御座居ります。

私達の身近な打てばカーンと響く方に晴舞台に出て戴きたいで皆様に訴へる次第で御座居ります。

前回三十八年十一月の衆院選挙には誠に悲劇的な結末で終り、釧路市民も、その日影の様な生活も、早三年になり、心ある人には如何に この釧路から一人の議員を選出出来なかつた事が釧路の発展を阻害し、住民の福利に響く事だつたらう、とは

私の考では、やはり釧路のどのこの大地に生れ、魚箱のにおいの空気を吸い濃霧のたちこめた土地で育つた人でなければ、私達と同様な郷土愛は生れてこないと考へます。その土地に育つた者でなければ、真実の私達の代表として活躍してくれないはずです。

前回岡田さんは、道東の組織票にたより過ぎ、苦林をなめた訳ですが、来春のため捲土重来をねらつて居り宮々と実を結んでゐるのにひきかえ、自民党の方は阿部さんの引退声明により、その後釜も出来ていない有様です。私は政治の内幕についてはわかりませんが、今回の引退声明には、かくされた裏がある様な気がしてなりません。負ける戦なら始めからしないと云ふのでしたら、私達の一票が釧路選出の議員に向けていたなら入選

夢にも思はなかつた事だつたと残念かつた事と想像致します。票から見ても、充分、釧路、根室

政治については、木念人の私です。今更皆様へくどくど申上げる所存は御座居ませんが、党派等は第二の問題として、唯私達の暮しているこの郷土か

は出来る筈です。もつと選挙権を持つた私達にも責任を持つべきだと存じます。

その会のスローガンに、「郷土を愛し仕事に徹し、人と和す」とあります。その第一の如く、私達の暮している郷土を愛さなければならぬと思ひます。

釧路市民の皆様が、自身の郷土たる釧路を愛する熱情が、日本を愛する事に變りがないと存じ

に帰る人と運んで参りました。今度の航海は安全でしたが日本へ帰る人の中には、男装の女性敵に追われ子供達と別々になつた人、等此れ又洩なくしては聞かれない事はかりです。

釧路の発展を阻害し、住民の福利に響く事だつたらう、とは

私達は毎度此の終戦記念日の報道を聞くたびに当時の事が目の前に思い出されてなりません。

毎度この様な不躰な御手紙を差上げ誠に申訳ありません。これが一途に釧路を思へばこそ言葉です。悪しからずお許し下さい。

乱筆誤字を御詫び申し上げます

敬白

敬白

# 東側と西側

安藤昭二

北大通の通行人が東側と西側通りを北に南へと流れて居るのですが西側の橋詰より駅方面に向ふ人は、最近非常に少なくなつて来た様に思います。バスより降る人も西側の停留所より横歩道を通つて東側に移動してしまふのです、八月に当社の店頭で、ビールのタダ飲会を、二時間にわたり行ないましたのですが、その時しみじみと東側に通行人が二〇対一、(少しオーバーですが)割合で通行して居るのがわかりました。何故だろかドイツでわありませんが政治家が違ふわけではないのに、と思いましたが、やはり、東側にはパート、魅力ある商店があるからでしょうか、人道の中が広いからか、午前十一時頃より夕方まで太陽が暖かく照して居るからか。「スチームの様な暖かさよりもルンペンストープの熱い方が、あつたかい様な気がする様に」太陽の少ない釧路の人達なら、夏の大陽を全身にあびて東側で買物をする気持は良くわかります、また冬は冬で雪の溶けが早いし、雪の寄せ場があるので通行人は、ほかほかと冬の大陽を受けて、暖かいデパ

ートにと吸込まれてしまふわけです、西側は虫歯の如く店並みは凸凹で、大きな銀行は、東側より優秀でも、西側の虫歯を治してくれる程貸出しはしてくれないし。西側はどうなるでしょう、西側の商店街の皆様市役所の為ではない、北大通りの為

## アスナロ人物住来

その一

め、自分の為にも、一日も早く都市改造の方針に協力して立派な北大通にしたいものです。私は市役所より原稿料は頂いて居りません、念の為め………又々開発建設部より北大通には東西にバリケートを付けなければ、法律違反になるとの事、やはや、困りました。釧路の北大通はドイツではありませんが、西側と東側とに分離させないで下さい。

美青年であるが、その笑顔の眸みは商人のキビしさを身につけた、戈気走しつた光りに輝いてる事を誰しも否定する人はあるまい、本会創設のプランナーとして、創草期の智慧袋として会長を補佐、副会長という良き女房役を努めた彼こそ、本余の融和性を代表していると言つて過言ではあるまいメンストリート中央に位する安本金物の専務として、多くの店員を彼一流のアイデアで駆使している力も、又言を俟たない事である。

力的だ、演芸司会等は本職ハダシ「小驅よく万有の真相を究む」と言う様な理論派でもある硬軟両派に秀いでた、所謂宮本武蔵をホープツさせる彼は、深刻なシワを顔に現す時、天下の商敵皆チヂミ上る様な眼光をひらめかす、業界のリードオフマンである事もその理である。池谷総務部長

会の常任委員会の要め総務を担当、非常にリチギな存在、酒、煙草は嗜まず、本とに愛妻家である、然しおつきあいは結構、吞まずとも雰囲気同調して、皆の愉しさをなポーズをキヤメラに納めて後日、動かぬ証拠品として提示し、そんな意味では人が悪いがどうしてどうして、彼氏の議事録は万人等しく信頼されてゐる、自転車販売にニューアイデアで業界を圧している大宮企画部長

彼の柔和な笑顔は品があり知的である望まれて教鞭をソロバンに置き代えたと言う氏はkk丸文の営業部長、先生の経歴等ミジシも見られない頭の低い、その応接は根からの商人と言つても疑うスキがない、店員教育はkk丸文の定評のある処だがそのリーダーキヤップとして多岐な腕を發揮して本会の企画を担当以上でスペースが一杯になつて大きな推進力となつてゐる。

専ら会務の企画と推進を多忙の中をいともなく、とにかく精多謝 (概記)